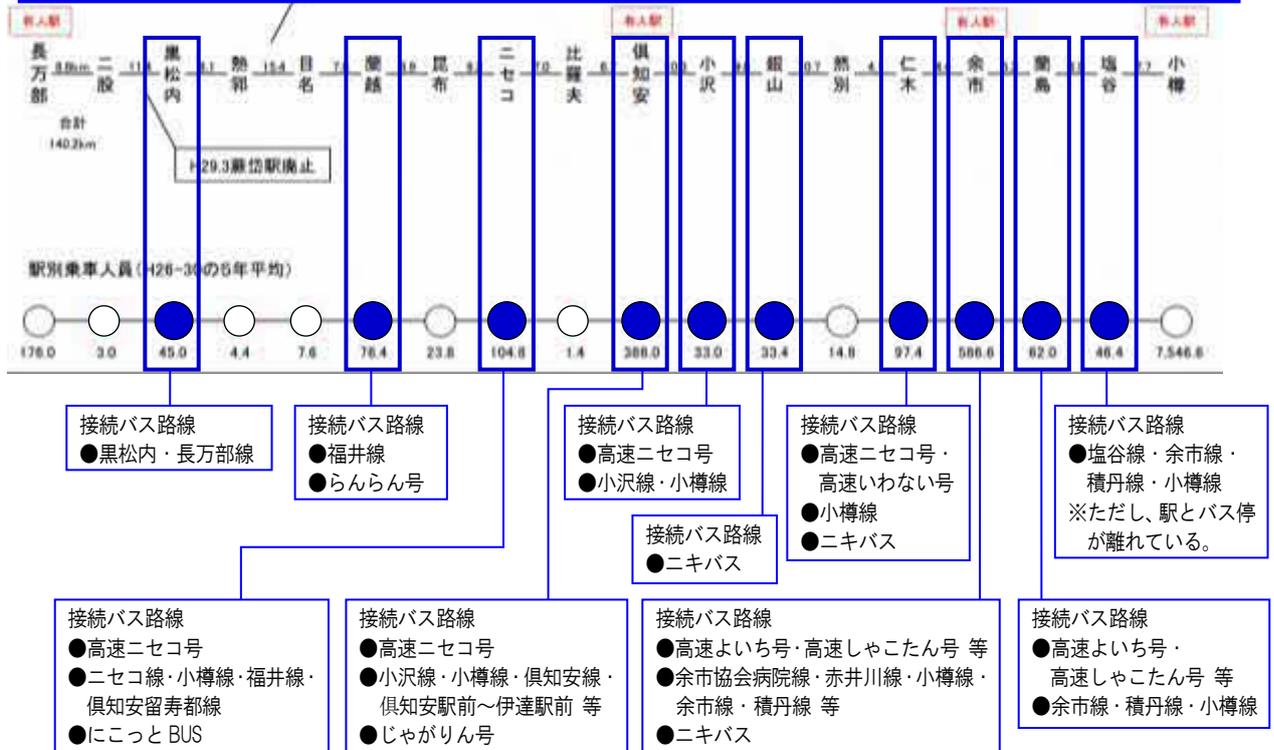


資料：北海道新幹線並行在来線対策協議会 第8回後志ブロック会議 参考資料函館線（函館・小樽間）のあり方の検討について

図 2 後志地域の公共交通機関（広域路線など）

乗車人員 30 人/日以上（10 箇所、全てバス路線の接続有り）にて調査を実施
 ※利用者が多い余市駅・倶知安駅は、多方面へのバスが接続し、バスターミナル機能も有するため、バス乗降場を中心とした調査も実施
 ※後志地域内の鉄道路線の末端であり、地域外との往来が多い小樽駅と長万部駅は調査対象外（後志地域内の駅と小樽駅・長万部駅の往来者は、他駅の調査で捕捉可能）



資料：「北海道新幹線並行在来線対策協議会 第7回後志ブロック会議 資料1 函館線長万部・小樽間の状況について」に加筆

図 3 JR 函館本線の駅別乗車人員等

(3) 調査方法

- 調査実施箇所の各駅・バスターミナルに調査員を配置し、鉄道やバスの利用者に対して、アンケート調査資料（アンケート依頼状、アンケート調査票、返送用封筒）を配布する。
- 調査資料を受け取った利用者に、期日までに、アンケート調査票に回答してもらい、返送用封筒に入れて、郵便ポストに投函してもらう。



図 4 アンケート調査資料（配布資料一式）

(4) 調査実施日

- 調査資料配布は、通勤・通学や高齢者の日常生活など、日常的な公共交通利用が見込める「学校の夏休み前の『平日』1日」である「令和3年7月20日（火）」に実施した。
- 調査資料配布後の回答の受領期限（郵送期限）は、令和3年7月31日（土）（消印有効）としていたが、回答の受領状況を考慮して、令和3年8月27日（金）に到着した回答までを集計対象とした。

表 1 調査日時・期間

調査資料配布の実施予定日	回答受領期間
R3.7.20（火） 5,6 時頃～21,22 時頃 【各調査実施箇所の始発・終着便の時間による】	R3.7.31 日（土）まで（消印有効） ⇒R3.8.27（金）に到着した回答まで集計

(5) 調査資料の配布状況 及び 回答回収状況

➤ 下表のとおり、各調査実施箇所において、調査資料を 940 部配布

⇒ 回答受領数：177（配布数に対する回答率 19%）

表 2 調査資料配布数

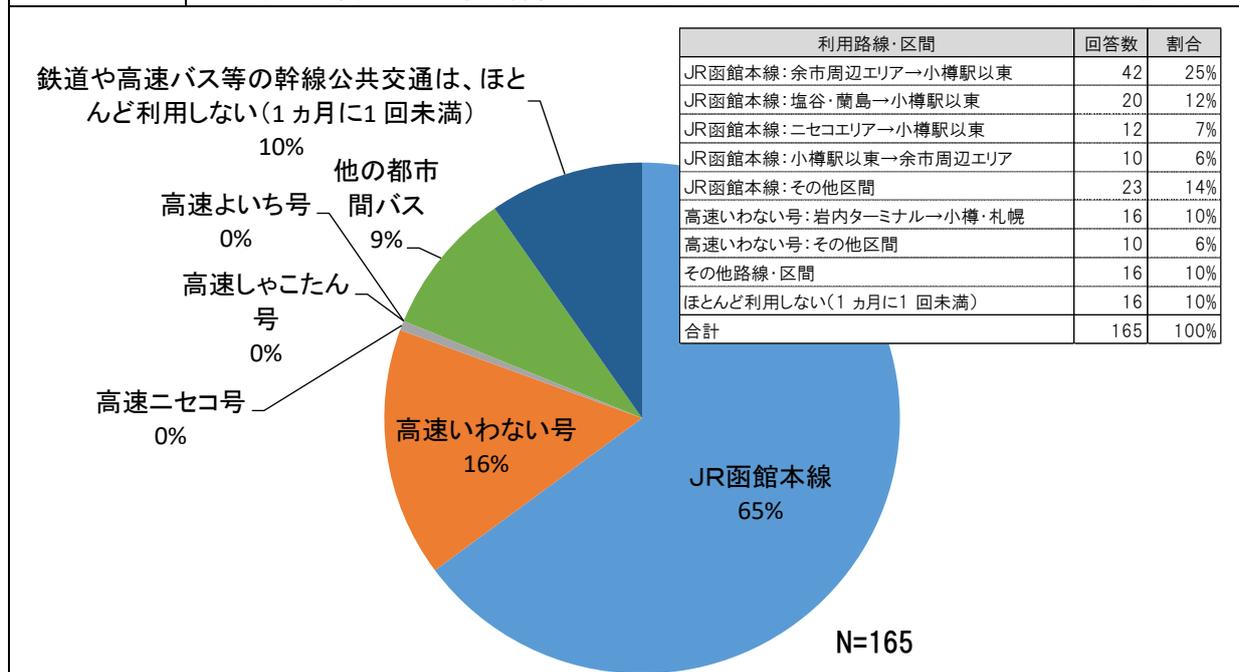
No	分類	調査実施箇所	調査資料配布数
1	鉄道駅	塩谷	36
2		蘭島	32
3		余市	278
4		仁木	65
5		銀山	19
6		小沢	15
7		俱知安	166
8		ニセコ	35
9		蘭越	42
10		黒松内	43
11	バス ターミナル	岩内	182
12		寿都	27
合計			940

※ただし、上記の駅・バスターミナル間で往復の移動をしている利用者は、往路の乗車時／降車時、復路の乗車時／降車時の計 4 回、調査資料を受け取る機会があるため、調査資料を受け取った実際の人数は、940 名より少ない（940 名は、調査資料を複数回受け取った利用者を含む延べ人数）

2. 調査結果

(1) 鉄道や高速バス等の広域公共交通の利用状況

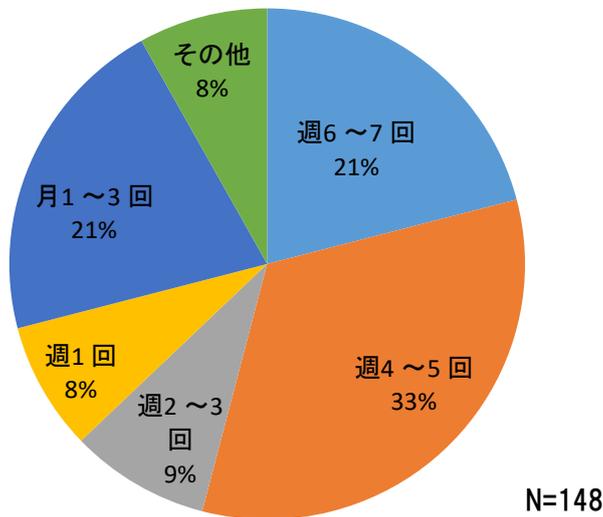
設問 1	広域公共交通（鉄道や高速バスなどの広域路線）について、あなたが最もよく利用する路線と区間をお教えてください。
選択肢	1) JR 函館本線 2) 高速いわない号 3) 高速ニセコ号 4) 高速しゃこたん号 5) 高速よいち号 6) 他の都市間バス 7) 鉄道や高速バス等の幹線公共交通は、ほとんど利用しない（1カ月に1回未満）



	合計 (無回答を含まない)	JR 函館本線	高速いわない号	高速ニセコ号	高速しゃこたん号	高速よいち号	他の都市間バス	鉄道や高速バス等の幹線公共交通は、ほとんど利用しない(1カ月に1回未満)	無回答 (合計に含まない)
回答数	165	107	26	1	-	-	15	16	12
割合	100%	65%	16%	1%	0%	0%	9%	10%	-

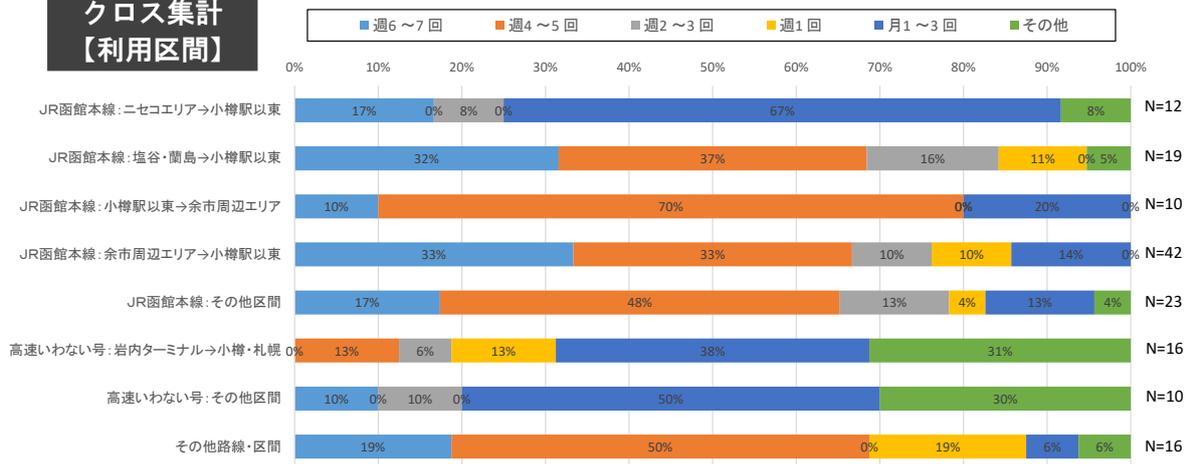
- ・ 回答者の 65% を JR 利用者が占め、次いで、高速いわない号の利用者が多い。
- ・ 利用区間別に見ると、「JR：余市周辺エリア（余市・仁木）⇒小樽駅以東（小樽・札幌）」が最も多く（25%）、次いで「JR：塩谷・蘭島⇒小樽駅以東（小樽・札幌）」（12%）、「高速いわない号：岩内ターミナル⇒小樽・札幌」（10%）が多い。

調査対象	設問1で1)~6)を回答		
設問2	設問1で回答した「最もよく利用する路線・区間」の利用頻度をお教えてください。		
選択肢	1) 週6~7回	2) 週4~5回	3) 週2~3回
	4) 週1回	5) 週1回	6) その他



	合計 (無回答を含 まない)	週6~7回	週4~5回	週2~3回	週1回	月1~3回	その他	無回答 (合計に含ま ない)
回答数	148	31	49	13	12	31	12	1
割合	100%	21%	33%	9%	8%	21%	8%	-

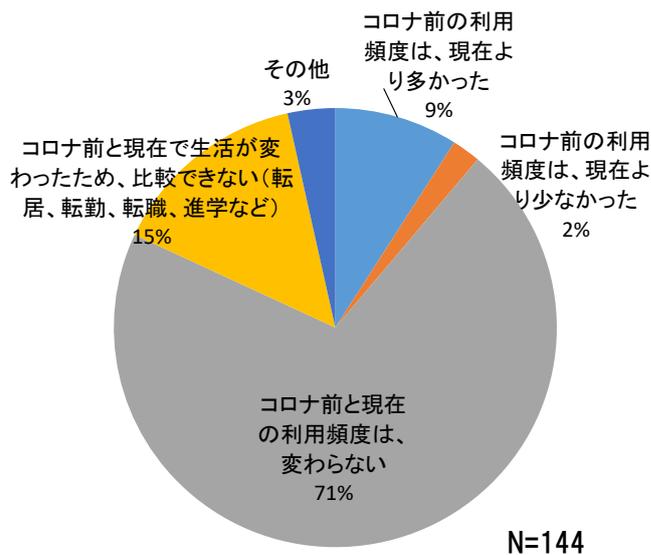
クロス集計 【利用区間】



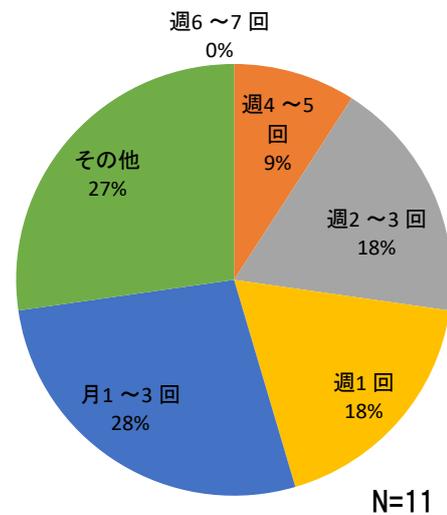
- ・週4~5回が33%、週6~7回が21%と、平日にはほぼ毎日利用している利用者が大部分を占める。一方で、週1~3回の利用者よりは、月1~3回(週1回未満)の利用者の方が多い。
- ・利用区間別に見ると、「JR:余市周辺エリア⇄小樽駅以東(小樽・札幌)」や「JR:塩谷・蘭島⇒小樽駅以東(小樽・札幌)」といった比較的短距離のJR利用は、週4回以上の割合が高く、比較的長距離の「JR:ニセコエリア⇒小樽駅以東」や「高速いわない号:岩内ターミナル⇒小樽・札幌」は、月1~3回の割合が高い(週4回以上の割合は低い)。

調査対象	設問 1 で 1)~6)を回答
設問 3	設問 2 で回答した「最もよく利用する路線・区間の利用頻度」について、新型コロナウイルスの感染拡大前（2019年12月以前）の利用頻度をお教えてください。
選択肢	1) コロナ前の利用頻度は、現在より多かった⇒コロナ前の利用頻度 2) コロナ前の利用頻度は、現在より少なかった ⇒コロナ前の利用頻度 3) コロナ前と現在の利用頻度は、変わらない 4) コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない （転居、転勤、転職、進学など） 5) その他

● 現在の利用頻度



● コロナ前の利用頻度（多かった）



● 現在の利用頻度

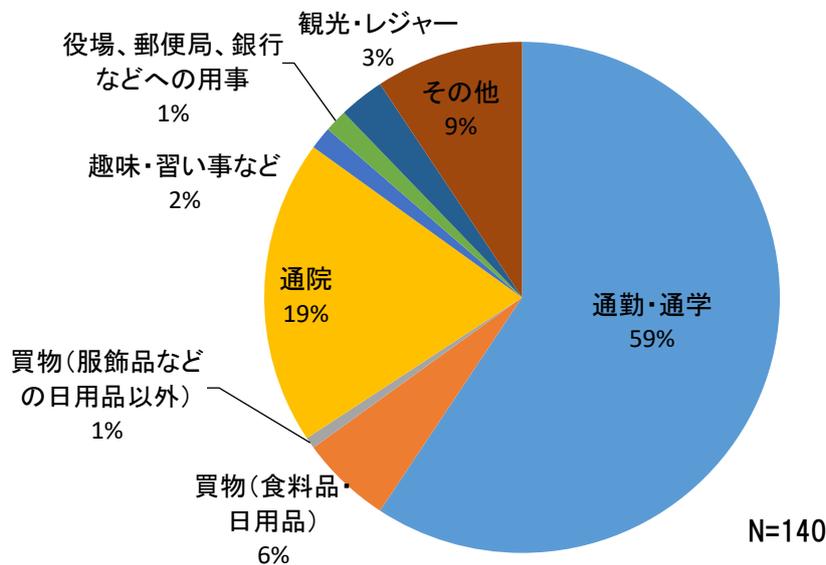
	合計 (無回答を含まない)	コロナ前の利用頻度は、現在より多かった	コロナ前の利用頻度は、現在より少なかった	コロナ前と現在の利用頻度は、変わらない	コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない(転居、転勤、転職、進学など)	その他	無回答 (合計に含まない)
回答数	144	13	3	102	21	5	5
割合	100%	9%	2%	71%	15%	3%	-

● コロナ前の利用頻度（多かった）

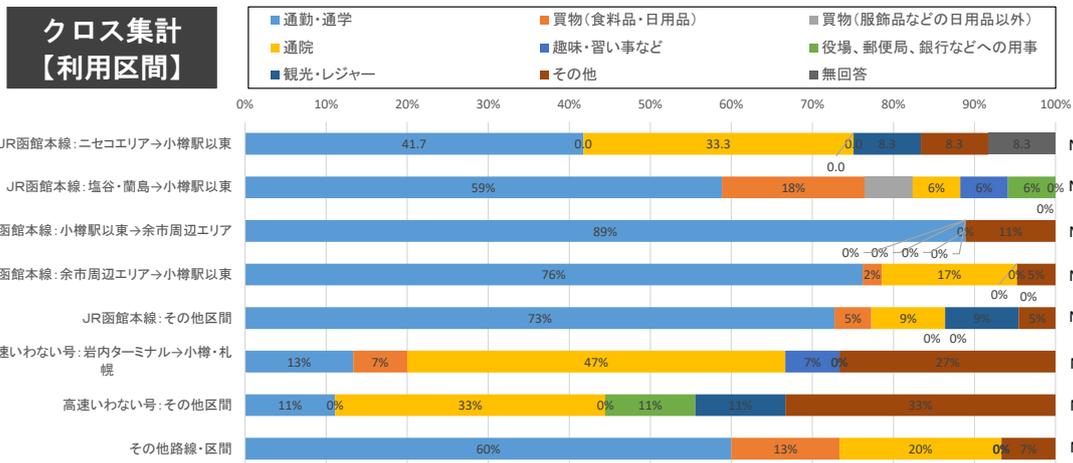
	合計 (無回答を含まない)	週6～7回	週4～5回	週2～3回	週1回	月1～3回	その他	無回答 (合計に含まない)
回答数	11	-	1	2	2	3	3	2
割合	100%	0%	9%	18%	18%	27%	27%	-

・ 広域公共交通（鉄道や高速バスなどの広域路線）の利用頻度は、**新型コロナウイルスの感染拡大前と変わっていない利用者が多く（約 70%）、変わった方は少ない（コロナ前の方が多：9%、少ない：2%）。**

調査対象	設問1で1)~6)を回答
設問4	設問1で回答した路線・区間を利用する際の主な移動目的をお教えてください。
選択肢	1) 通勤・通学 2) 買物(食料品・日用品) 3) 買物(服飾品などの日用品以外) 4) 通院 5) 趣味・習い事など 6) 役場、郵便局、銀行などへの用事 7) 観光・レジャー 8) その他



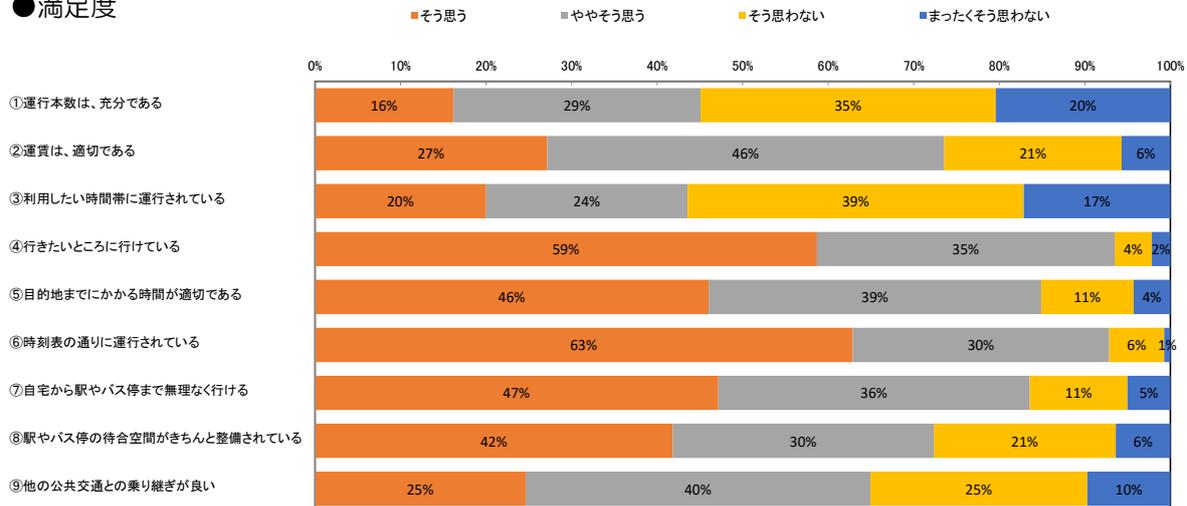
	合計 (無回答を含まない)	通勤・通学	買物(食料品・日用品)	買物(服飾品などの日用品以外)	通院	趣味・習い事など	役場、郵便局、銀行などへの用事	観光・レジャー	その他	無回答 (合計に含まない)
回答数	140	83	8	1	27	2	2	4	13	9
割合	100%	59%	6%	1%	19%	1%	1%	3%	9%	-



- ・通勤・通学が約60%（うち、40%は高校生）と利用者の多くを占め、次いで、通院が約20%（うち、13%は65歳以上の高齢者）を占める。
- ・利用区間別に見ると、「JR：余市周辺エリア⇔小樽駅以东（小樽・札幌）」や「JR：塩谷・蘭島⇔小樽駅以东（小樽・札幌）」といった比較的短距離のJR利用は、「通勤・通学」の割合が高く、「高速いわない号」は「通院」の割合が高い（通勤・通学利用は少ない）。また、比較的長距離の「JR：ニセコエリア⇔小樽駅以东」は、他のJRと比較して「通院」が多い。

調査対象	設問1で1)~6)を回答
設問5-1	設問1で回答した路線・区間について、各観点の満足度をお教えてください。
選択肢	満足度 1) そう思う 2) ややそう思う 3) そう思わない 4) まったく思わない

●満足度

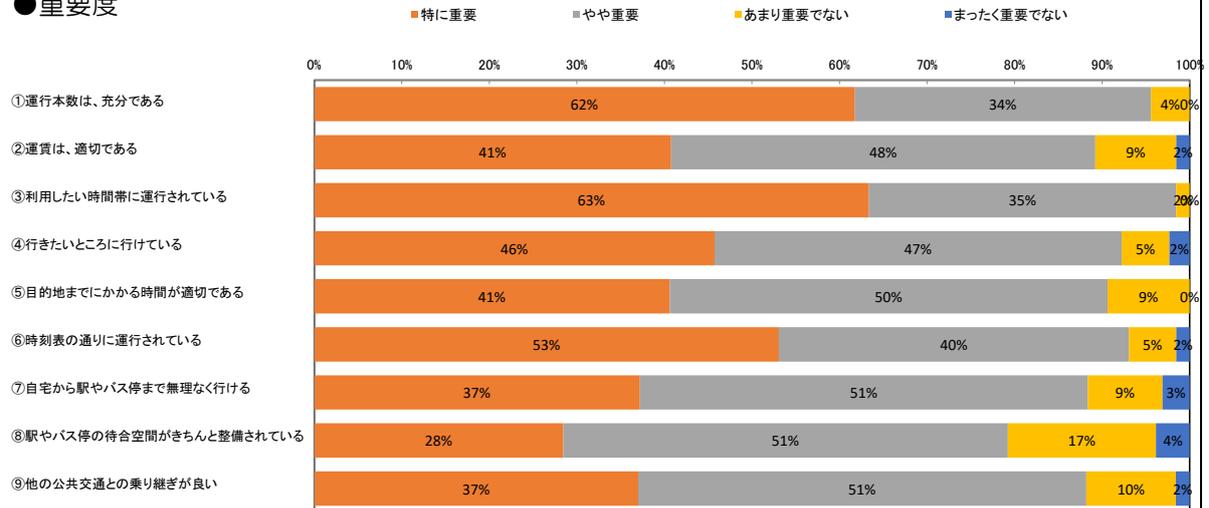


満足度	回答数					割合				
	合計 (無回答を含 まない)	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったくそう思 わない	無回答 (合計に含ま ない)	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったくそう思 わない
①運行本数は、充分である	142	23	41	49	29	7	16%	29%	35%	20%
②運賃は、適切である	140	38	65	29	8	9	27%	46%	21%	6%
③利用したい時間帯に運行されている	140	28	33	55	24	9	20%	24%	39%	17%
④行きたいところに行けている	138	81	48	6	3	11	59%	35%	4%	2%
⑤目的地までにかかる時間が適切である	139	64	54	15	6	10	46%	39%	11%	4%
⑥時刻表の通りに運行されている	140	88	42	9	1	9	63%	30%	6%	1%
⑦自宅から駅やバス停まで無理なく行ける	140	66	51	16	7	9	47%	36%	11%	5%
⑧駅やバス停の待合空間がきちんと整備されている	141	59	43	30	9	8	42%	30%	21%	6%
⑨他の公共交通との乗り継ぎが良い	134	33	54	34	13	15	25%	40%	25%	10%

- ・ ①運行本数や③運行時間帯に対する満足度が低い（半数以上は満足していない）、それ以外の観点は満足度が高い（④路線網・⑤所要時間・⑥定時性・⑦駅やバス停へのアクセスは、80%以上の利用者が満足、⑨乗継の満足度はやや低く65%の利用者が満足）。

調査対象	設問1で1)~6)を回答
設問5-2	設問1で回答した路線・区間について、各観点の重要度をお教えてください。
選択肢	重要度 1) 特に重要 2) やや重要 3) あまり重要でない 4) まったく重要でない

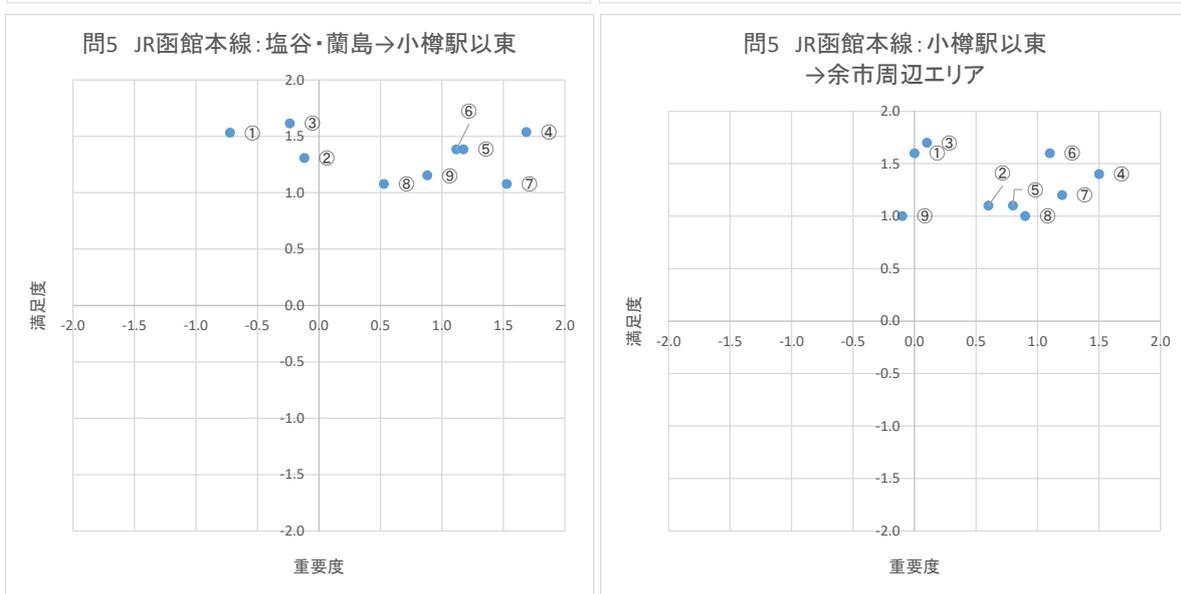
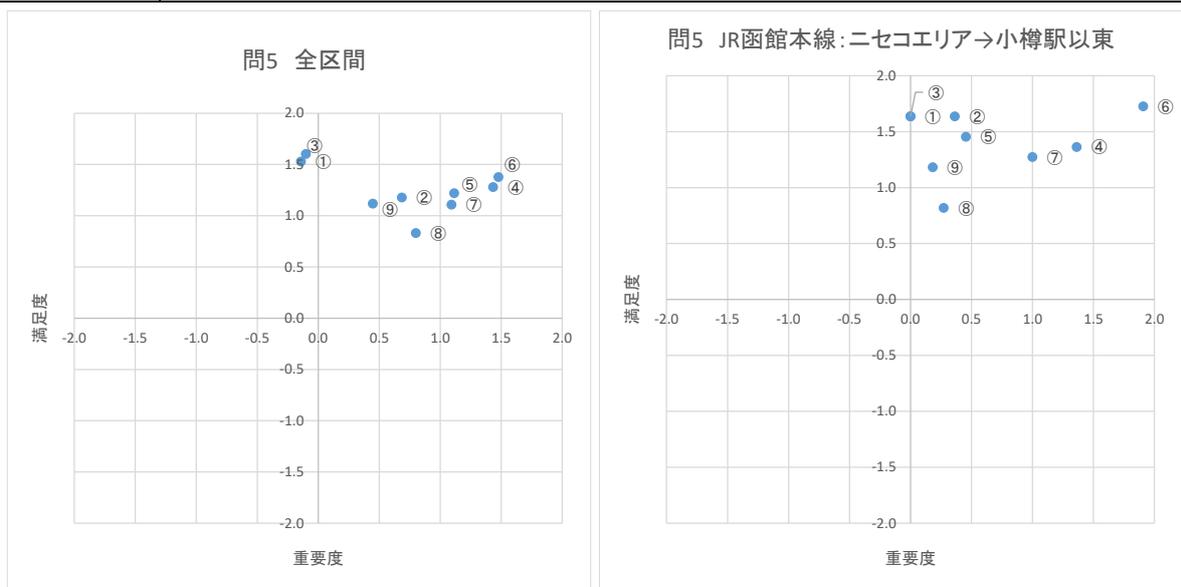
●重要度



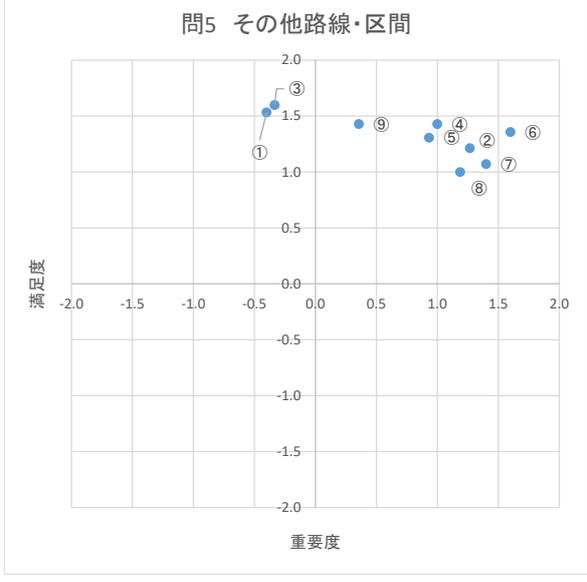
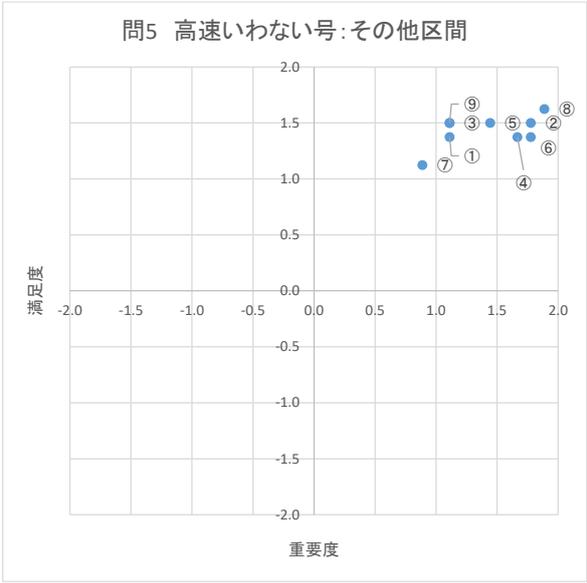
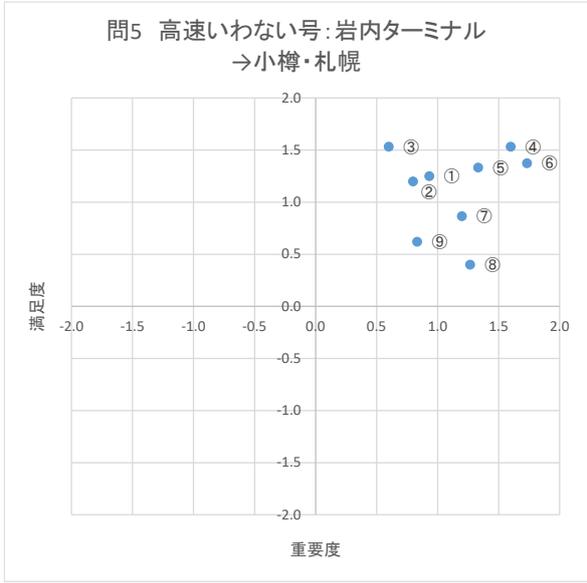
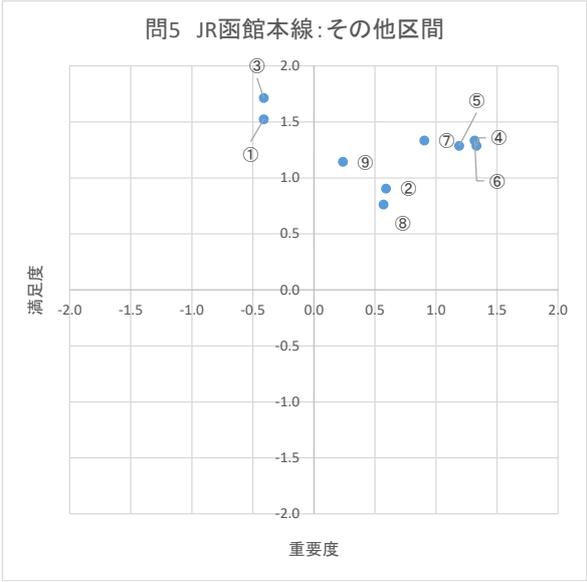
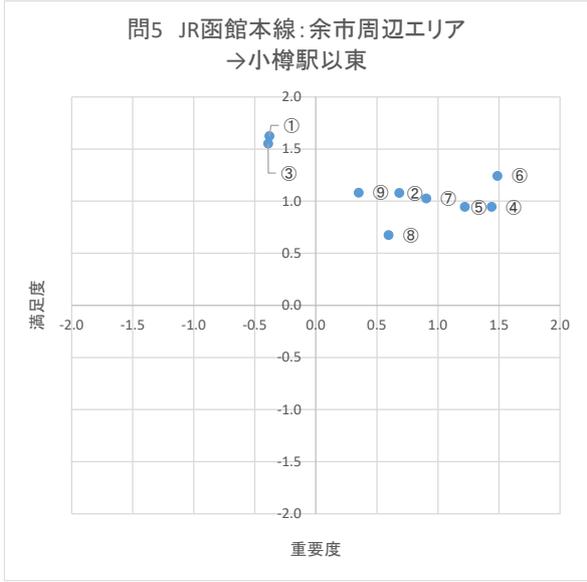
重要度	回答数					割合				
	合計 (無回答を含 まない)	特に重要	やや重要	あまり重要で ない	まったく重要 でない	無回答	特に重要	やや重要	あまり重要で ない	まったく重要 でない
①運行本数は、充分である	136	84	46	6	-	13	62%	34%	4%	-
②運賃は、適切である	130	53	63	12	2	19	41%	48%	9%	2%
③利用したい時間帯に運行されている	131	83	46	2	-	18	63%	35%	2%	-
④行きたいところに行けている	129	59	60	7	3	20	46%	47%	5%	2%
⑤目的地までにかかる時間が適切である	128	52	64	12	-	21	41%	50%	9%	-
⑥時刻表の通りに運行されている	130	69	52	7	2	19	53%	40%	5%	2%
⑦自宅から駅やバス停まで無理なく行ける	129	48	66	11	4	20	37%	51%	9%	3%
⑧駅やバス停の待合空間がきちんと整備されている	130	37	66	22	5	19	28%	51%	17%	4%
⑨他の公共交通との乗り継ぎが良い	127	47	65	13	2	22	37%	51%	10%	2%

- ・ 全ての観点に対する重要度が高くなっているが、特に③運行時間帯や①運行本数（満足度が低い観点）に対する重要度が高い（やや重要以上が95%以上、特に重要が60%以上）。
- ・ 最も重要度が低い観点は、⑧待合空間である（やや重要以上が約80%、特に重要が約30%）。

調査対象	設問 1 で 1)~6) を回答
設問 5	設問 1 で回答した路線・区間について、各観点の満足度・重要度をお教えください。
選択肢	下記のとおり、満足度と重要度を点数化 満足度 1) そう思う : 2点 2) ややそう思う : 1点 3) そう思わない : -1点 4) まったく思わない : -2点 重要度 1) 特に重要 : 2点 2) やや重要 : 1点 3) あまり重要でない : -1点 4) まったく重要でない : -2点



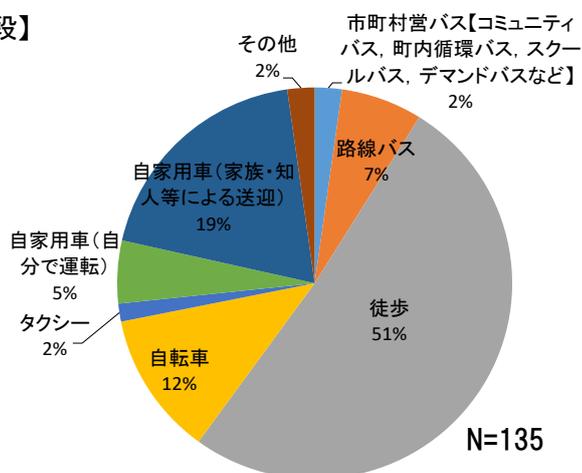
- ・全区間で見ると、③運行時間帯や①運行本数の満足度が低く、重要度が高い。
- ・JRは、いずれの区間でも、③運行時間帯や①運行本数の満足度が低く、重要度が高いが、特に「JR:塩谷・蘭島→小樽駅以東」の①運行本数の満足度が低い。
- ・「高速いわない号」は、全体的にJRより満足度が高い。



(2) 自宅から広域公共交通の駅等への移動

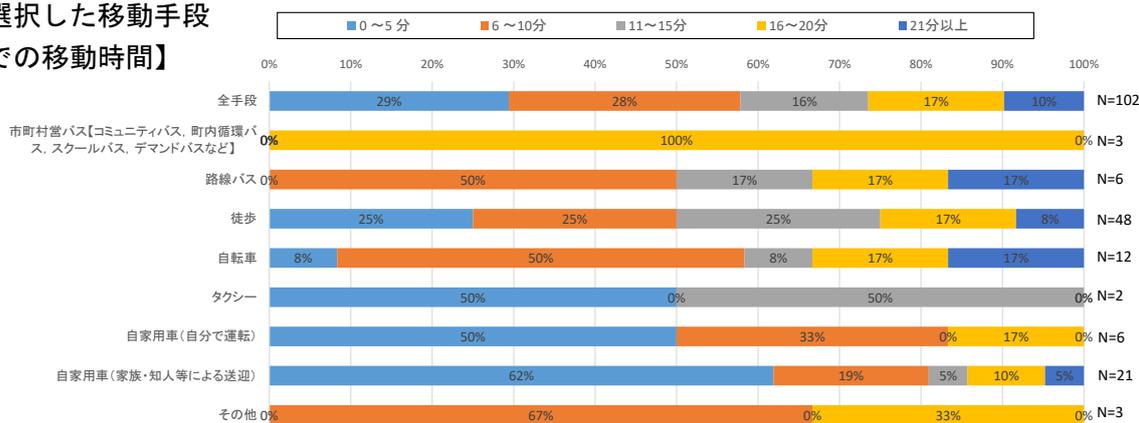
調査対象	設問 1 で 1)~6) を回答
設問 6	設問 1 で回答した最もよく利用する広域公共交通（鉄道や高速バスなどの広域路線）について、自宅から広域公共交通の駅やバス停への移動手段とその移動時間をお教えてください。（移動手段は、選択肢 1~8 のうち、最もあてはまる 1 つに○をつけてください。移動時間は、自宅から広域公共交通の駅やバス停へのおおよその移動時間を記入してください。）
選択肢	1) 市町村営バス【コミュニティバス、町内循環バス、スクールバス、デマンドバスなど】 2) 路線バス 3) 徒歩 4) 自転車 5) タクシー 6) 自家用車（自分で運転） 7) 自家用車（家族・知人等による送迎） 8) その他

【移動手段】



	合計 (無回答を含まない)	市町村営バス	路線バス	徒歩	自転車	タクシー	自家用車(自分で運転)	自家用車(家族・知人等による送迎)	その他	無回答 (合計に含まない)
回答数	135	3	9	69	16	2	7	26	3	14
割合	100%	2%	7%	51%	12%	1%	5%	19%	2%	-

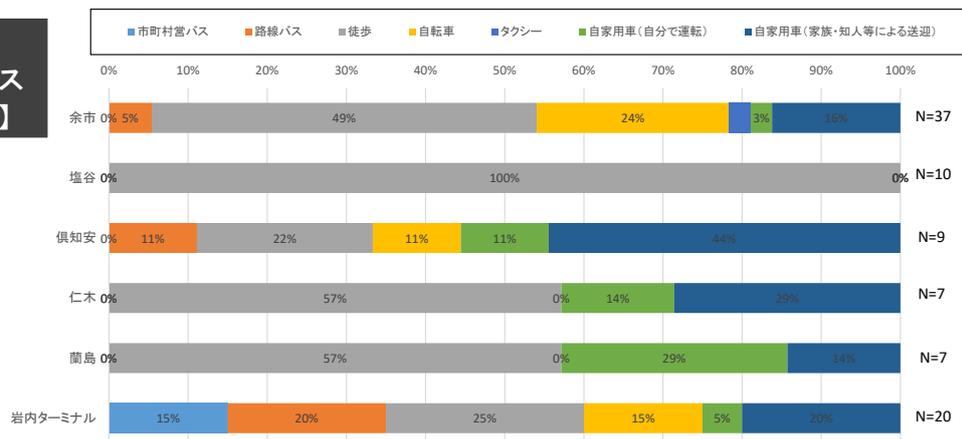
【選択した移動手段での移動時間】



- ・ 自宅から広域公共交通へのアクセス手段は、徒歩が非常に多く、50%以上を占める。
- ・ アクセス時間は、5分以内が約30%、10分以内が約60%を占める。
- ・ 路線バスや市町村運営バスでアクセスして広域交通に乗り換えている利用者は、僅か9%である。それらでアクセスしている利用者は、他の交通手段に比べてアクセス時間が長い。

調査対象	設問6で1) 町村営バス、または2) 路線バスを回答
設問7	自宅から広域公共交通の駅やバス停への移動に使用している「市町村営バスのバス名や路線バスの路線名」と「その際の利用区間」をお教えてください。(バス名・路線名と利用区間のそれぞれについて、() に具体的に記入してください。)
回答欄	【バス名・路線名】() 【利用区間】(バス停名:) ~ (バス停名:)

**クロス集計
設問6 アクセス
手段×【発駅】**



【自宅から『岩内ターミナル』へのアクセス手段】

- ・市町村営バス「ノッタライン」: 3名
- ・路線バス「神恵内線」: 4名

【自宅から『余市駅』へのアクセス手段】

- ・路線バス「余市線・積丹線」: 2名

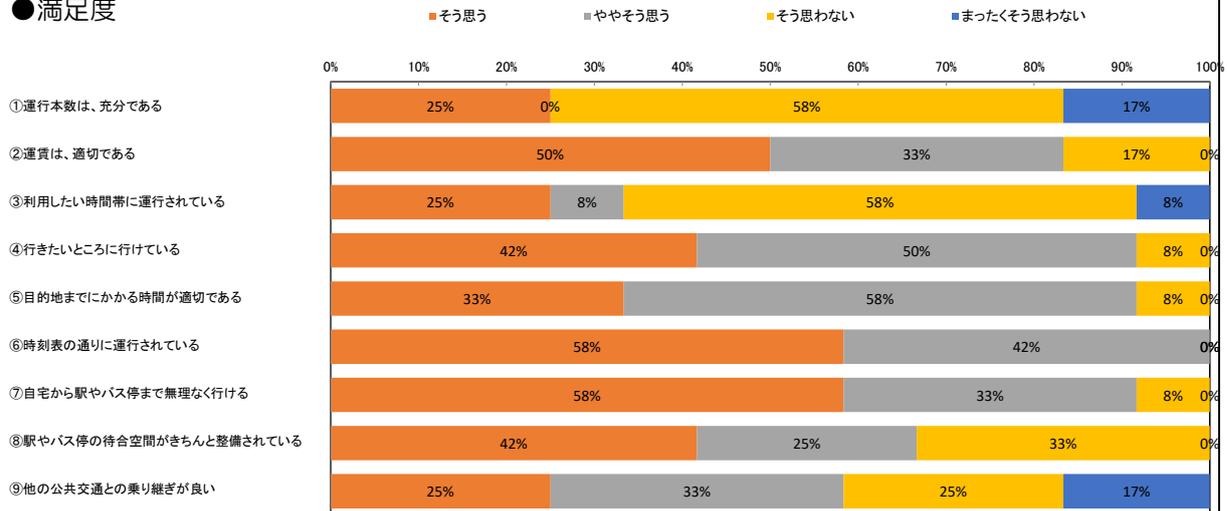
【自宅から『俱知安駅』へのアクセス手段】

- ・路線バス「大和線・京極線」: 1名

- ・自宅から広域公共交通に路線バスや市町村運営バスでアクセスしている利用者は、岩内ターミナルや余市駅、俱知安駅からの利用者のみである。
- ・岩内ターミナル利用者20名のうち、3名が市町村営バス「ノッタライン」、4名が路線バス「神恵内線」を利用している。

調査対象	設問6で「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」を回答
設問8-1	問7で回答したバス・路線について、各観点の満足度をお教えてください。
選択肢	満足度 1) そう思う 2) ややそう思う 3) そう思わない 4) まったく思わない

●満足度

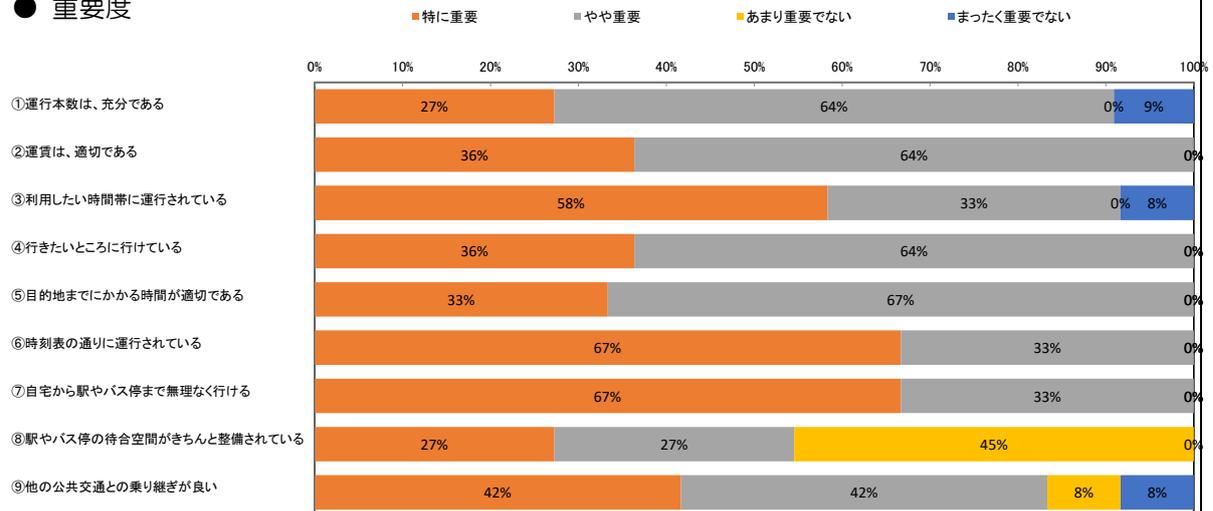


満足度	回答数					割合				
	合計 (無回答を含 まない)	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったくそう思 わない	無回答 (合計に含ま ない)	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったくそう思 わない
①運行本数は、充分である	12	3	-	7	2	-	25%	-	58%	17%
②運賃は、適切である	12	6	4	2	-	-	50%	33%	17%	-
③利用したい時間帯に運行されている	12	3	1	7	1	-	25%	8%	58%	8%
④行きたいところに行けている	12	5	6	1	-	-	42%	50%	8%	-
⑤目的地までにかかる時間が適切である	12	4	7	1	-	-	33%	58%	8%	-
⑥時刻表の通りに運行されている	12	7	5	-	-	-	58%	42%	-	-
⑦自宅から駅やバス停まで無理なく行ける	12	7	4	1	-	-	58%	33%	8%	-
⑧駅やバス停の待合空間がきちんと整備されている	12	5	3	4	-	-	42%	25%	33%	-
⑨他の公共交通との乗り継ぎが良い	12	3	4	3	2	-	25%	33%	25%	17%

・ 広域公共交通と同様、①運行本数や③運行時間帯に対する満足度が低く（半数以上は満足していない）、それ以外の観点は満足度が比較的高い（特に、④路線網・⑤所要時間・⑥定時性・⑦駅やバス停へのアクセスは、90%以上の利用者が満足、⑨乗継の満足度はやや低く55%の利用者が満足）。

調査対象	設問6で「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」を回答
設問8-2	問7で回答したバス・路線について、各観点の重要度をお教えてください。
選択肢	重要度 1) 特に重要 2) やや重要 3) あまり重要でない 4) まったく重要でない

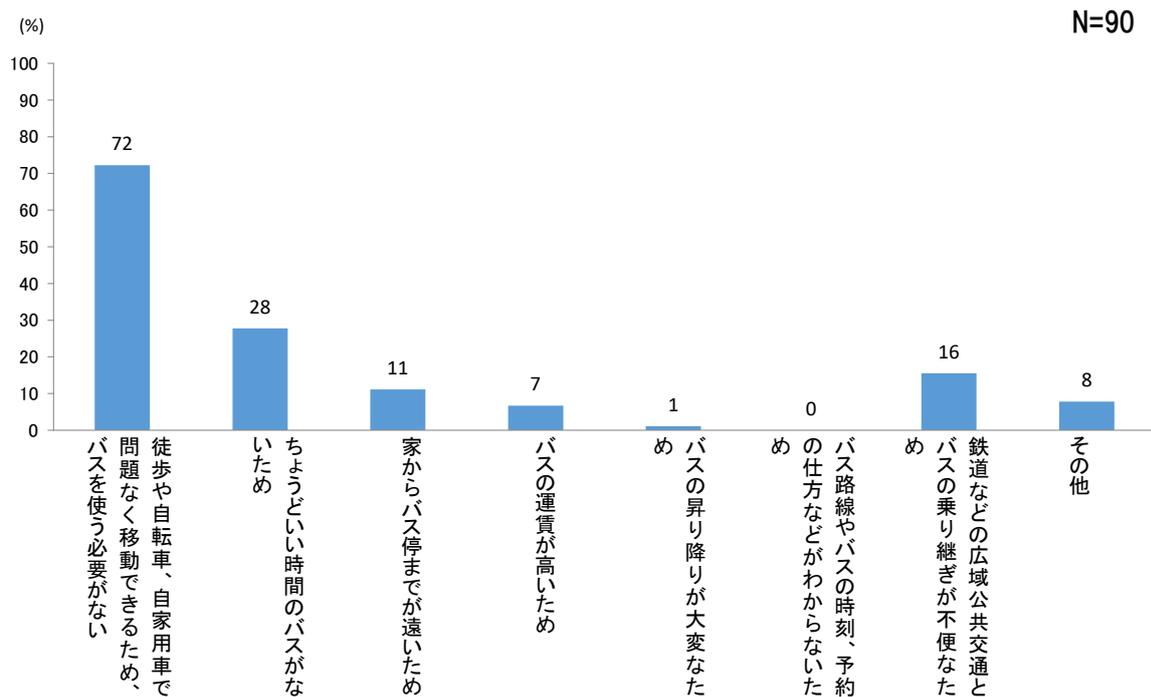
● 重要度



重要度	回答数					割合				
	合計 (無回答を含 まない)	特に重要	やや重要	あまり重要で ない	まったく重要 でない	無回答	特に重要	やや重要	あまり重要で ない	まったく重要 でない
①運行本数は、充分である	11	3	7	-	1	1	27%	64%	-	9%
②運賃は、適切である	11	4	7	-	-	1	36%	64%	-	-
③利用したい時間帯に運行されている	12	7	4	-	1	-	58%	33%	-	8%
④行きたいところに行けている	11	4	7	-	-	1	36%	64%	-	-
⑤目的地までにかかる時間が適切である	12	4	8	-	-	-	33%	67%	-	-
⑥時刻表の通りに運行されている	12	8	4	-	-	-	67%	33%	-	-
⑦自宅から駅やバス停まで無理なく行ける	12	8	4	-	-	-	67%	33%	-	-
⑧駅やバス停の待合空間がきちんと整備されている	11	3	3	5	-	1	27%	27%	45%	-
⑨他の公共交通との乗り継ぎが良い	12	5	5	1	1	-	42%	42%	8%	8%

- ・ ⑧待合空間のみ、重要度が約50%であるが、それ以外の観点は、重要度が非常に高くなっている。
- ・ 満足度も考慮すると、広域公共交通と同様、①運行本数や③運行時間帯の満足度が低く、重要度が高い。

調査対象	設問6で3～8（「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」以外）を回答
設問9	自宅から広域公共交通の駅やバス停への移動において、「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」を利用しない理由をお教えてください。
選択肢	1) 徒歩や自転車、自家用車で問題なく移動できるため、バスを使う必要がない 2) ちょうどいい時間のバスがないため 3) 家からバス停までが遠いため 4) バスの運賃が高いため 5) バスの昇り降りが大変なため 6) バス路線やバスの時刻、予約の仕方などがわからないため 7) 鉄道などの広域公共交通とバスの乗り継ぎが不便なため 8) その他



	合計 (無回答を含まない)	徒歩や自転車、自家用車で問題なく移動できるため、バスを使う必要がない	ちょうどいい時間のバスがないため	家からバス停までが遠いため	バスの運賃が高いため	バスの昇り降りが大変なため	バス路線やバスの時刻、予約の仕方などがわからないため	鉄道などの広域公共交通とバスの乗り継ぎが不便なため	その他	無回答
回答数	90	65	25	10	6	1	-	14	7	33
割合※	100%	72%	28%	11%	7%	1%	0%	16%	8%	-

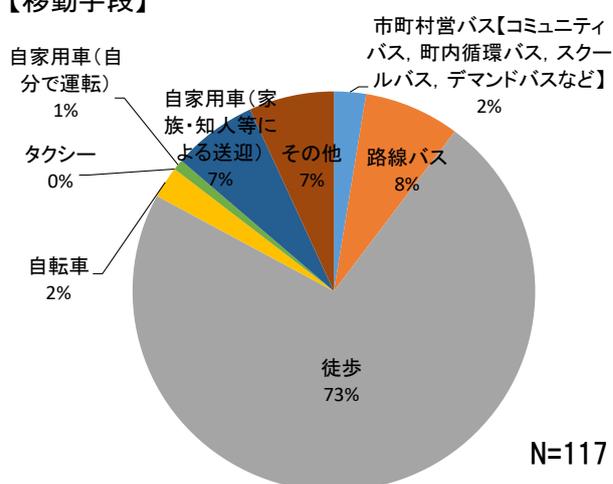
※回答者数(無回答者を含まない)90人に対する各選択肢を回答した方の割合

- ・70%以上の利用者が「徒歩や自転車、自家用車で問題なく広域交通にアクセスできる」ため、路線バスや市町村運営バスを使っていない。
- ・「ちょうどいい時間のバスが無い」と感じている利用者も30%程度いる。

(3) 広域公共交通の駅等から目的地への移動

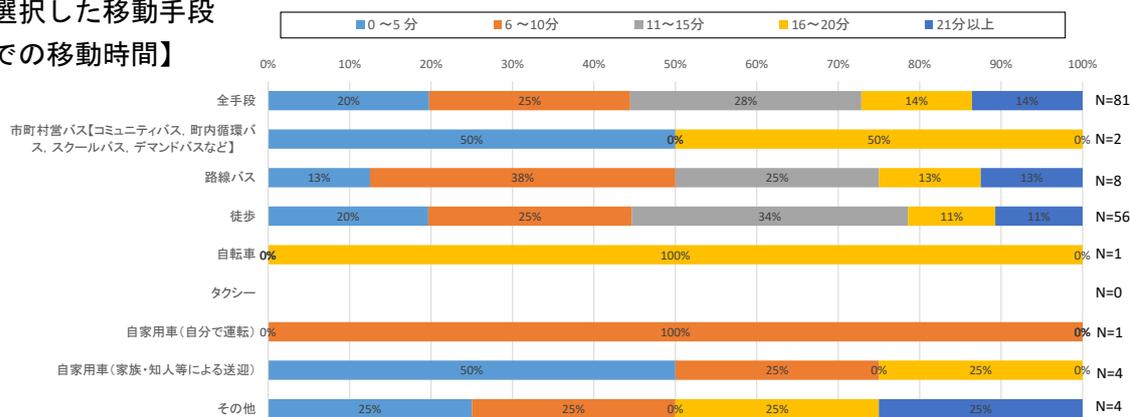
調査対象	設問1で1)~6)を回答
設問10	設問1で回答した最もよく利用する広域公共交通(鉄道や高速バスなどの広域路線)を利用する際の、広域公共交通の駅やバス停から目的地(職場・学校・店舗等の目的施設)への移動手段とその移動時間をお教えてください。(移動手段は、選択肢1~8のうち、最もあてはまる1つに○をつけてください。移動時間は、広域公共交通の駅やバス停から目的地へのおおよその移動時間を記入してください。)
選択肢	1) 市町村営バス【コミュニティバス、町内循環バス、スクールバス、デマンドバスなど】 2) 路線バス 3) 徒歩 4) 自転車 5) タクシー 6) 自家用車(自分で運転) 7) 自家用車(家族・知人等による送迎) 8) その他

【移動手段】



	合計(無回答含まない)	市町村営バス	路線バス	徒歩	自転車	タクシー	自家用車(自分で運転)	自家用車(家族・知人等による送迎)	その他	無回答(合計に含まない)
回答数	117	3	9	85	3	-	1	8	8	32
割合	100%	3%	8%	73%	3%	0%	1%	7%	7%	-

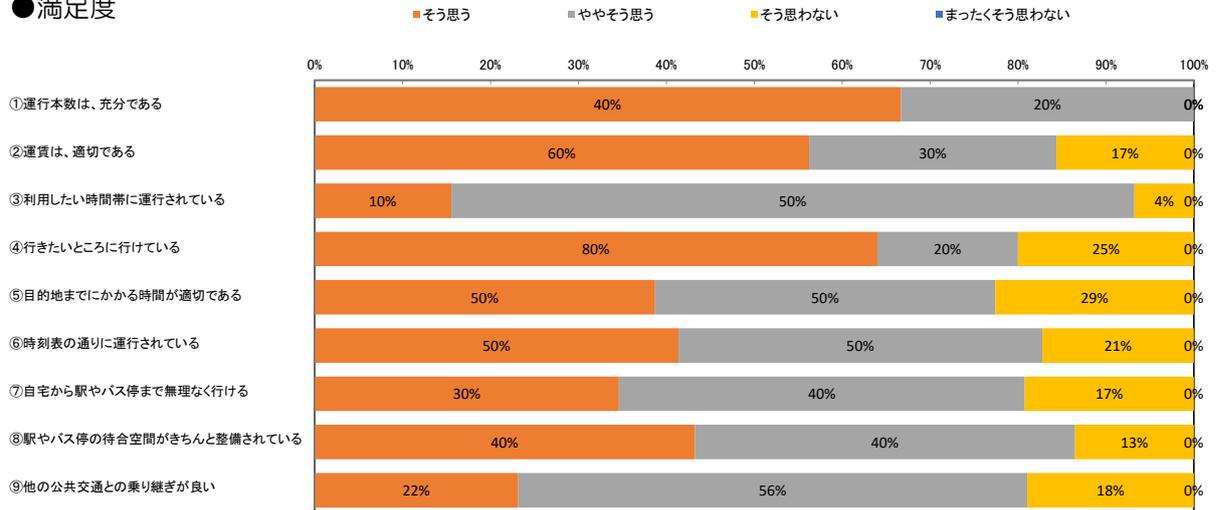
【選択した移動手段での移動時間】



- ・ 広域公共交通から目的地へのアクセス手段も、徒歩が非常に多く、70%以上を占める。
- ・ アクセス時間は、5分以内が約20%、10分以内が約55%を占める。
- ・ 広域公共交通から路線バスや市町村運営バスに乗り換えて目的地に向かっている利用者は、僅か11%である。

調査対象	設問10で「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」を回答
設問12-1	問11で回答したバス・路線について、各観点の満足度と重要度をお教えてください。
選択肢	満足度 1) そう思う 2) ややそう思う 3) そう思わない 4) まったく思わない

●満足度

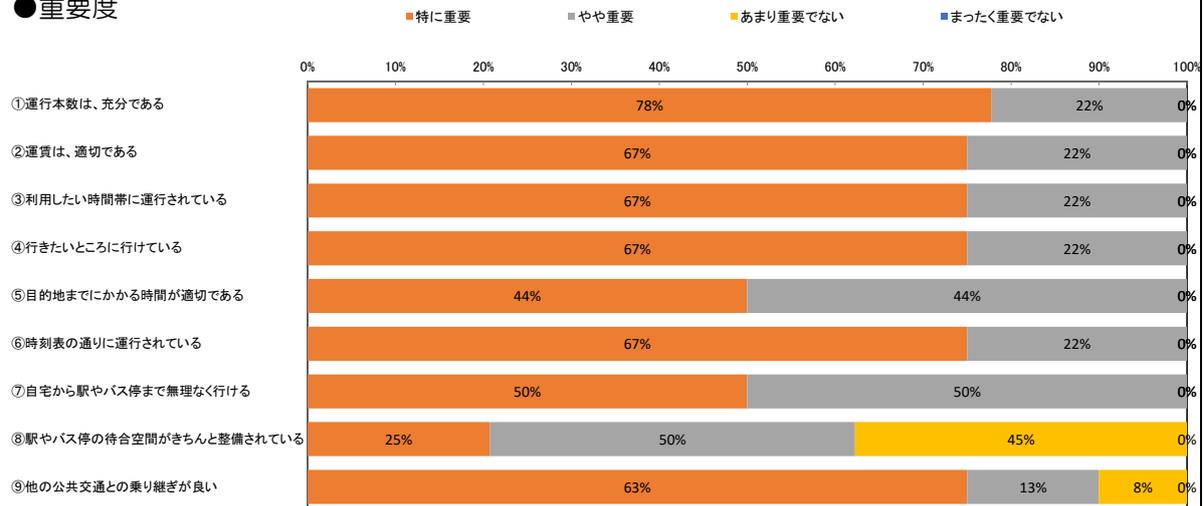


満足度	回答数					割合				
	合計 (無回答を含 まない)	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったくそう思 わない	無回答 (合計に含ま ない)	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったくそう思 わない
①運行本数は、充分である	10	4	2	4	-	2	40%	20%	40%	-
②運賃は、適切である	10	6	3	1	-	2	60%	30%	10%	-
③利用したい時間帯に運行されている	10	1	5	4	-	2	10%	50%	40%	-
④行きたいところに行けている	10	8	2	-	-	2	80%	20%	-	-
⑤目的地までにかかる時間が適切である	10	5	5	-	-	2	50%	50%	-	-
⑥時刻表の通りに運行されている	10	5	5	-	-	2	50%	50%	-	-
⑦自宅から駅やバス停まで無理なく行ける	10	3	4	3	-	2	30%	40%	30%	-
⑧駅やバス停の待合空間がきちんと整備されている	10	4	4	2	-	2	40%	40%	20%	-
⑨他の公共交通との乗り継ぎが良い	9	2	5	2	-	3	22%	56%	22%	-

・ 広域公共交通から路線バスや市町村運営バスに乗り換えて目的地に向かっているケースは、大半が小樽駅以東のため、満足度が全体的に高くなっている。

調査対象	設問10で「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」を回答
設問12-2	問11で回答したバス・路線について、各観点の満足度と重要度をお教えください。
選択肢	重要度 1) 特に重要 2) やや重要 3) あまり重要でない 4) まったく重要でない

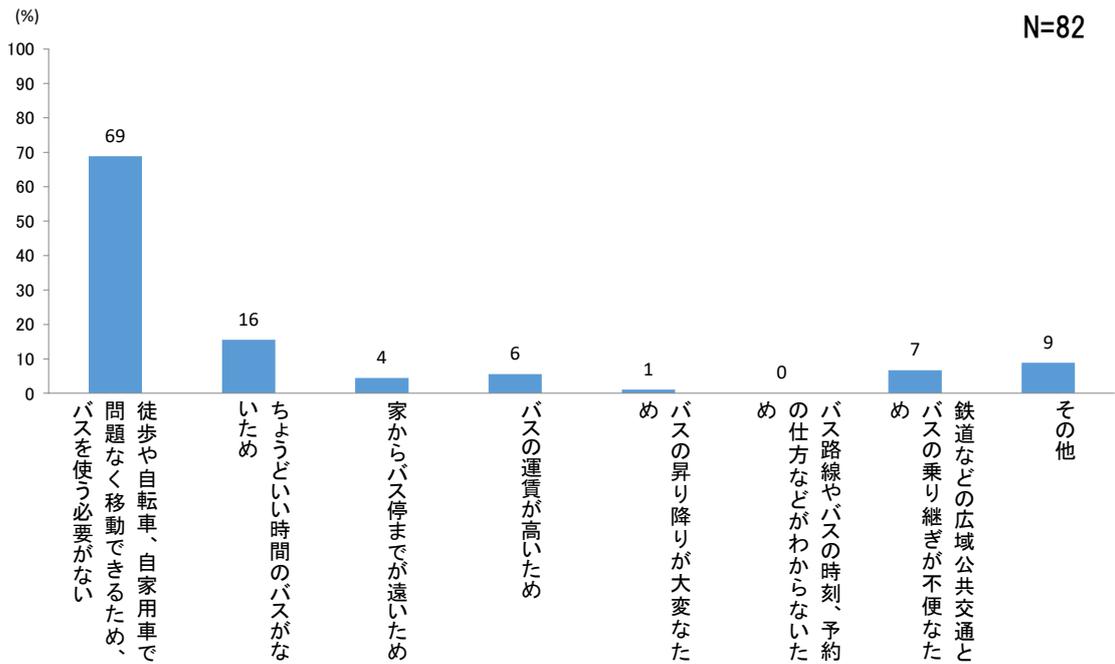
●重要度



重要度	回答数					割合				
	合計 (無回答を含 まない)	特に重要	やや重要	あまり重要で ない	まったく重要 でない	無回答	特に重要	やや重要	あまり重要で ない	まったく重要 でない
①運行本数は、充分である	9	7	2	-	-	3	78%	22%	-	-
②運賃は、適切である	9	6	2	1	-	3	67%	22%	11%	-
③利用したい時間帯に運行されている	9	6	2	1	-	3	67%	22%	11%	-
④行きたいところに行けている	9	6	2	1	-	3	67%	22%	11%	-
⑤目的地までにかかる時間が適切である	9	4	4	1	-	3	44%	44%	11%	-
⑥時刻表の通りに運行されている	9	6	2	1	-	3	67%	22%	11%	-
⑦自宅から駅やバス停まで無理なく行ける	8	4	4	-	-	4	50%	50%	-	-
⑧駅やバス停の待合空間がきちんと整備されている	8	2	4	2	-	4	25%	50%	25%	-
⑨他の公共交通との乗り継ぎが良い	8	5	1	2	-	4	63%	13%	25%	-

・⑧待合空間のみ、重要度が約75%であるが、それ以外の観点は、重要度が非常に高くなっている。

調査対象	設問10で3～8（「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」以外）を回答
設問13	広域公共交通の駅やバス停から目的地への移動において、「1. 市町村営バス」、「2. 路線バス」を利用しない理由をお教えてください。
選択肢	1) 徒歩や自転車、自家用車で問題なく移動できるため、バスを使う必要がない 2) ちょうどいい時間のバスがないため 3) 家からバス停までが遠いため 4) バスの運賃が高いため 5) バスの昇り降りが大変なため 6) バス路線やバスの時刻、予約の仕方などがわからないため 7) 鉄道などの広域公共交通とバスの乗り継ぎが不便なため 8) その他



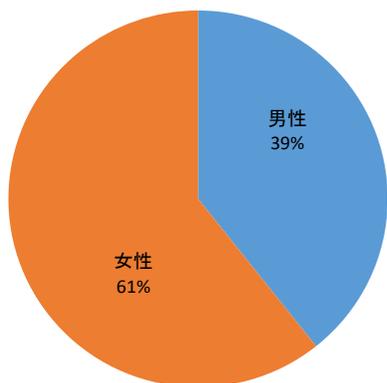
	合計 (無回答を含まない)	徒歩や自転車、自家用車で問題なく移動できるため、バスを使う必要がない	ちょうどいい時間のバスがないため	家からバス停までが遠いため	バスの運賃が高いため	バスの昇り降りが大変なため	バス路線やバスの時刻、予約の仕方などがわからないため	鉄道などの広域公共交通とバスの乗り継ぎが不便なため	その他	無回答
回答数	82	62	14	4	5	1	-	6	8	23
割合※	100%	69%	16%	4%	6%	1%	0%	7%	9%	-

※回答者数(無回答者を含まない)82人に対する各選択肢を回答した方の割合

- ・約70%の利用者が「徒歩や自転車、自家用車で問題なく目的地にアクセスできるため、路線バスや市町村営バスを使っていない。

(4) 属性

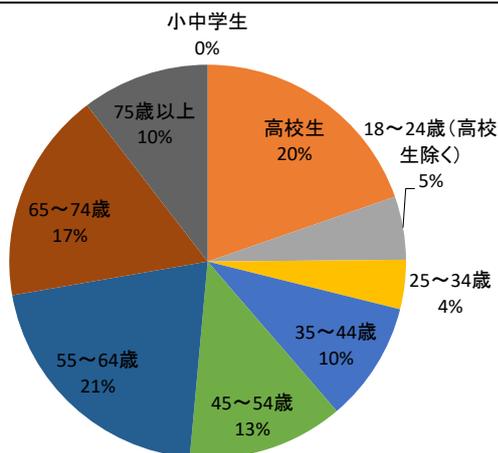
設問 1 4	性別について、お教えてください。
選択肢	1) 男性 2) 女性



	合計 (無回答を含 まない)	男性	女性	無回答 (合計に含ま ない)
回答数	173	68	105	4
割合	100%	39%	61%	-

・ 回答者は女性が 2/3 弱を占める。

設問 1 5	年齢について、お教えてください。
選択肢	1) 小中学生 2) 高校生 3) 18～24歳 (高校生除く) 4) 25～34歳 5) 35～44歳 6) 45～54歳 7) 55～64歳 8) 65～74歳 9) 75歳以上



	合計 (無回答を含 まない)	小中学校	高校生	18～24歳 (高校生除 く)	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答 (合計に含ま ない)
回答数	173	-	34	9	7	17	22	36	30	18	4
割合	100%	0%	20%	5%	4%	10%	13%	21%	17%	10%	-

・ 公共交通の利用が多い高校生や高齢者の回答がやや多くなっているが、他の年代の回答も得られている。

調査対象 制限無し

設問 16 お住まいの市町村と地区をお教え下さい。

選択肢

【市町村】

1) 小樽市 2) 島牧村 3) 寿都町 4) 黒松内町 5) 蘭越町

6) ニセコ町 7) 真狩村 8) 留寿都村 9) 喜茂別町 10) 京極町

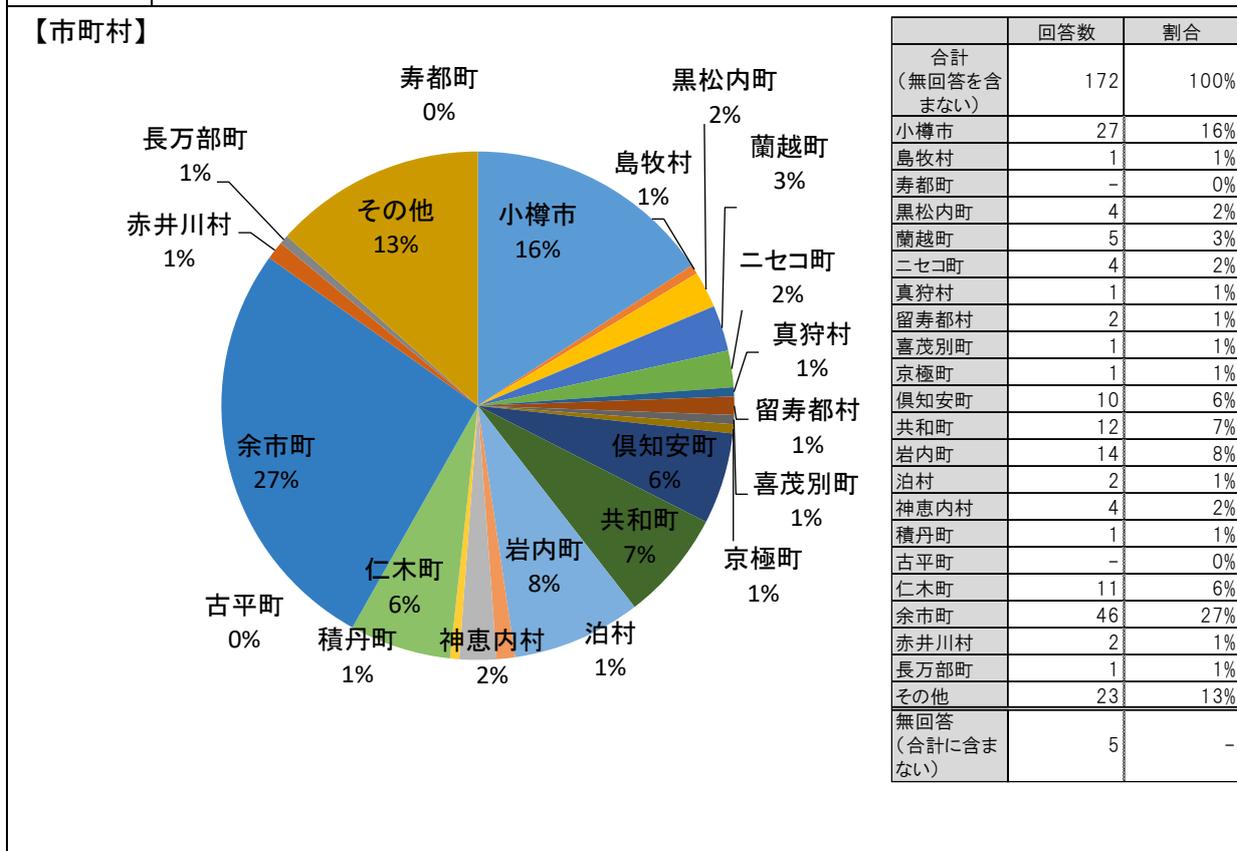
11) 倶知安町 12) 共和町 13) 岩内町 14) 泊村 15) 神恵内村

16) 積丹町 17) 古平町 18) 仁木町 19) 余市町 20) 赤井川村

21) 長万部町 22) その他

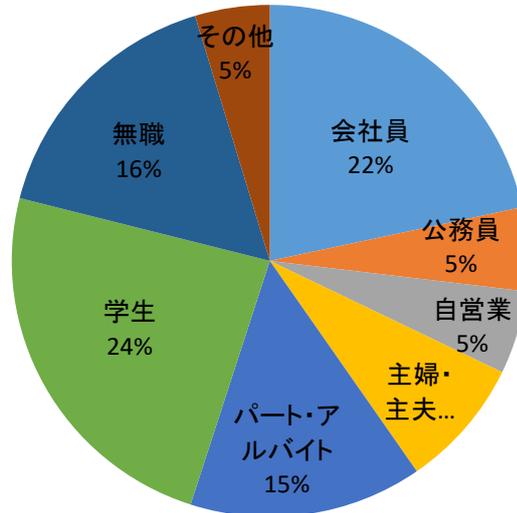
【地区名】

()



・ JR 利用者数が多い余市駅や人口が多い小樽市の在住者の回答が多くなっている。

設問 17	ご職業について、お教えてください。						
選択肢	1) 会社員	2) 公務員	3) 自営業	4) 主婦・主夫	5) パート・アルバイト	6) 学生	7) 無職
	8) その他〔具体的に：						〕



	合計 (無回答を含 まない)	会社員	公務員	自営業	主婦・主夫	パート・アル バイト	学生	無職	その他	無回答 (合計に含ま ない)
回答数	171	37	9	9	14	25	41	28	8	6
割合	100%	22%	5%	5%	8%	15%	24%	16%	5%	-

・ 高校生等の学生が最も多く、次いで、会社員が多い。

(5) 自由回答

設問 18 後志地域の公共交通全般について、ご意見等がございましたら、自由にお答えください。

No	居住 市町村	自由意見	分 類				
			並行在来 線の存続・ 増便など	乗継の 利便性	幹線バス の維持・増 便など	その他 不満・要望	その他
1	留寿都村	現在高校生です。夕方帰宅時間にかけてバスの本数が少なく不便であること、ルートが長いこと、少ない本数にルート間のお客さんが多数乗車するため、密の状態の時もあります。広い範囲を網羅するので仕方ないと思いますが、本数も少なく時間もかかり、よいタイミングで乗れない事を考えて母は年を取ったらこの村に住むことはむずかしいと話していました。JRとの接続が悪くて札幌方面へ行くのに不便です。	-	●	●	-	-
2	岩内町	札幌の通院のために利用しているので始発便が助かります。	-	-	-	-	●
3	余市町	・バスと電車との乗り継ぎができないため、どちらかでしか移動できなくて困っている。できるようになると家から駅までバスで行きそこから電車に乗ることができるので公共交通機関を利用しやすくなる。 ・運行本数が少ないため適切な時間に学校に行けない。	-	●	●	-	-
4	余市町	運行本数が少ない場合、混む可能性が高いため、座席数の多く作って欲しい。年齢層が高いため。	-	-	-	●	-
5	余市町	JRの時間が少なくとも1時間に1本はほしいです。	●	-	-	-	-
6	倶知安町	このアンケートは域外への通勤などの人に対応していない。目的地が札幌だと問10などは答えにくいし、回答が域内のことなのか、域外のことなのかなどが把握しにくいと思います。	-	-	-	●	-
7	ニセコ町	地域過疎化、人口減少で止むを得ないが、地域交通がどんどん減少している。道、町村も政策打ち手が全く見えない。定住人口増加の目途が立たないのであれば流動人口を増やすべく、観光政策を実のある内容で追記深化させるしか方策はないと感じる。町村の縦割り行政ではどうしようもない。アンケート集約後、後志振興局から方向性や施策は示されるのでしょうか？	-	-	-	●	●
8	仁木町	移動するのに時間がかかり、年の私にとっては、体力の限界を感じる毎日です。病院にも時間！！買物にも時間！！田舎での生活が厳しくなっています。	-	-	-	-	●
9	余市町	※JRはかつての大動脈(余市駅等)幹線鉄道でした。この函館本線はかならず残すべき。(新幹線が札幌まで来たときのことを考えて) ※千歳線と室蘭線は「有珠山」があり、火山活動が起きた場合不通となる。(過去の噴火の時、函館本線があったので北海道は助かった。※「有珠山」に噴火はかならずある。	●	-	-	-	-
10	蘭越町	在来線は残してほしい。	●	-	-	-	-
11	余市町	公共交通において、不採算路線が廃止されるのは、逆らうことはできません。代替バス等も利用者が少ない予測からうまく実践できないとは思いますが、過疎地ほど、高齢者の足の確保は重要だと思います。自家用車を手離し、替わりの手段がなければ、外部との関わりも少なくなり、フレイル等につながる等、悪循環になると思います。公共交通からそれるかもしれませんが、生活の全てにつながる課題だと思います。	-	-	-	-	●
12	余市町	余市町のバス停について！！余市駅付近のバス停が多過ぎて、地元の人でもわかりづらいと聞きます。来町する方に道案内をする事も度々あります。余市駅の横か前に発着のターミナルがあると便利なのはと毎日頃思っています。	-	-	-	●	-
13	余市町	バスや電車の本数は増えなくてもよいので、バスと電車間の乗り継ぎが丁度よくなるようにしてほしい。通学に赤井川線のバスと電車を利用したいが、バスの駅到着一分前に電車が発車してしまい、とても困っている。バス会社とJRの連携を強化して欲しい。	-	●	-	-	-
14	神恵内村	土、日に6時バスを作ってほしいです(神恵内から岩内に行くバスで)部活が終るのが遅い日もあるので19時位のバスを作ってほしいです(岩内から神恵内に行くバスで)岩内から神恵内に行くバスで12:40があるのですが12:50くらいの夏季と同じ時間に1年中してほしいです。岩内から神恵内に行くバスで12:40のバスが出るとその後は16:10までバスがないのでその間に1本作ってほしいです。	-	-	●	-	-
15	共和町	今のところ、自家用車を運転しているが、いずれ免許証の返納時期を迎えることになるので、地域での足替いとなるバスの運行は不可欠と考えている。	-	-	●	-	-
16	札幌市	新幹線開通後、在来線が無くなるのはとても不便になる。余市駅は観光や地元の足としても重要な駅であり、バスより時短で目的地に着ける。存続してほしいと強く思う。	●	-	-	-	-
17	札幌市	いつも安全な運転ありがとうございます。	-	-	-	-	●
18	余市町	・バスとJRの接続が悪いので直してほしい。・Kitakaが使えるようになるとさらにいい。	-	●	-	●	-
19	共和町	バスの本数を増やしてほしいです。	-	-	●	-	-
20	蘭越町	蘭越町在住ですが、蘭越駅まで遠く、又、JRが不通の際はニセコ岩内まで出なくては行けなく、不便です。新幹線が通る様になったら在来線がなくなるのはショックです。たとえバス代行になったとしても、今まで通りの時刻で発車・到着するのでも不安です。倶知安から新幹線に乗って札幌までと考えていますので、乗り継ぎの時間を合わせてくれるダイヤにして欲しいです。	●	-	-	-	-
21	余市町	JRはすぐ止まり、全くつかえない。代行も始発にあわせた代行バスも考えてくれず時間に間に合わず、小樽まで車で送ることもある。全くつかいづらい不満ばかり。コロナでJR利用がへり、全くのっていないのに、返金を希望で窓口行っても、あなたは乗ってますとばかり。のっていないから返金つたえだが、対応も悪く不満ばかりだ。	-	-	-	●	-
22	仁木町	後志地域がもっと良い地域に、くらしやすく住みごこちの良い地域になるよう、私自身も願っています。これからもアンケートなどを進んでやっていくと私たち自身も住みやすい地域にするために、出来る事や今やるべき事が勉強になったり、今の地域の事を学べるので、これからも協力をさせていただきたいです。ありがとうございました。	-	-	-	-	●
23	未回答	今朝駅前前で受けました。私は期間のみ果樹園にパートに来ましたが、今どき階段のみはまして、余市駅は急なので驚きました。地元の方も通院の際老夫婦は大変と申ししていました。エレベータを設置して下さい。	-	-	-	●	-
24	余市町	倶知安～余市間の銀山や然別、乗降する人がいないので、時間短縮のため、午後のJR止まらなくてもいいと感じる。(快速を作ってはどうか)倶知安線のJR職員は、冬でも運行に支障がないよう努力しているが、本数が少ないです。(帰宅できないかもと不安な時がありました)	●	-	-	-	-
25	余市町	・私は札幌までJRで通勤していますが、バスでは小樽乗換えとしても時間がかかります。余市から札幌まで通勤、通学する人もそれなりにいますので、JRは必要です。・また、高速道路との関係で言えば、余市までは有料区間ですが、全道的に見て、JRが「単独で維持できない区間」とした路線で、併行する高速道路が有料となっている区間は一つもありません。新幹線絡みで事情は異なりますが、余市までは残して良いのでは。・バスの接続が悪い旨記入しましたが、帰りに利用するJRが余市駅に着く数分前に最寄のバス停に3分おきに2本続けて発着する一方で、JRが到着した後は30分近く待たされるなど極端なので、調整改善いただきたくご意見しました。他の時間は概ね良いと思います。	●	●	-	-	-
26	札幌市	鉄道が存続できますようお願いいたします。	●	-	-	-	-

No	居住 市町村	自由意見	分 類				
			並行在来 線の存続・ 増便など	乗継の 利便性	幹線バス の維持・増 便など	その他 不満・要望	その他
27	東京都	函館線の減便で「青春18きっぷ」などの普通列車でのゆっくりした旅が乗り継ぎが悪くなった事にしにくい。地元の人が片道JR、片道バスなどで利用してくれば公共交通が維持しやすくなると思う。そのような事が出来る企画割引きっぷがあれば、利用につながると思う。希望の多い時間をバスで実施して利用につながるか検証してJR増便に役立てて下さい。	●	-	-	●	-
28	余市町	大雨などで、銀山～然別間がよく運休になり困ります。きちんと整備をしていただきたいと思います。また、小樽から先(倶知安方面)の駅にもIC対応の改札を作っていただけると嬉しく思います。	-	-	-	●	-
29	島牧村	・ニセコバスは古くドアの開閉に問題もあり、先日などは遅れて来ました。乗客も少ないので料金も高く本数も少ないとは思いますが、整備はきちんとして頂きたい。・高速いわない号を良く利用していますが、寿都に行くバスとのわずかな時間差でまにあわない事があり(特に最終便)、札幌に1泊せざるを得ません。どうぞ乗り継ぎを考えた路線時間をご検討下さい。	-	●	●	●	-
30	余市町	無人駅が多いのできっぷの買い方や乗り継ぎ等で困っている人をよくみます。無人駅からのつた人にもわかりやすいように料金の払い方等の案内があった方が親切だと思います。	-	-	-	●	-
31	共和町	来町1年足らずで現在勉強中あまり詳しくわかりません	-	-	-	-	●
32	倶知安町	冬にJRが止まりすぎたり、他にもしばらく使えず代行もないのは働きに出る移動手段として頼れないです。	-	-	-	●	-
33	倶知安町	もっとJRの本数を充実させてほしい。乗車賃ばかり上がっているの、負担となる。	●	-	●	●	-
34	札幌市	小樽～余市の鉄道を絶対継続して欲しい。通勤、通学、観光で多くの人利用している現状なのに廃止するなんてありえない。もしもバスに切り替えられたら通勤、通学で小樽方面に余市から行く人が激減して町が衰退すると思う。	●	-	-	-	-
35	岩内町	現状より遅い時間帯の便を運行してほしい。	-	-	●	-	-
36	仁木町	地元の学生に駅の一角をリメイクしてもらったら良い。	-	-	-	-	●
37	共和町	JRの不便さに大変困っています。約1時間に1本しかないのが帰りが大変です。土砂崩れで線路が不通になった時には、苦労しました。稲穂峠とJRが不通になった時には、1泊せざるを得ません。現に1度経験しました。安心安全の運行をお願いします。	●	-	-	-	-
38	岩内町	高速いわない号について、余市ICから札幌まで高速を経由する便があると札幌までのアクセス時間が短縮されるので利便性が高まると思います。	-	-	-	●	-
39	ニセコ町	JRはなくさないで欲しいです。	●	-	-	-	-
40	黒松内町	もう少しJRの時間にあわせて車が走ってくると良い。	-	●	-	-	-
41	小樽市	①小樽から余市迄の区間の電化。②塩谷駅前からバスの運行があれば利用したい。この地域は年配の方が多く利用しやすい事が大切か。今後5年位で2人か利用者が少なくなる。高齢のため)	-	●	-	●	●
42	小樽市	塩谷駅を利用しているが、無人駅で、運休や遅れでバス停まで一山歩かなければならず、バス転換した方が良い。	-	-	-	●	-
43	小樽市	小樽～蘭島間のJRの本数が少なすぎます。また蘭島から始発に乗っているのですが、1両だと席に座れず立っている人がたくさんいるので2両にしてほしいです。1時間に1本しかJRが走ってないので、乗りすごすと1時間待ちになるので本当に不便です。もう少しでいいので本数を増やして頂けないでしょうか。	●	-	-	●	-
44	小樽市	私は蘭島駅から仁木までパートに行っており。朝の列車が余市で10分以上も停車します。向いの列車の交換の為とはわかっておりますが、あと一駅…の10分の停車はストレスになっています。23年間、お世話になっているので言いたくはありませんが、清掃も(駅)あまりされておらず、この上、列車の本数がなくなる事はとても耐えられません。もっと利用者の立場になって考えて頂けたらと思います。	●	-	-	●	-
45	倶知安町	不便。JRは運休が多すぎる。通学している高校生がかわいそう。JRの運賃がどんどん値上げするが、JR北海道自体の体質を変えお客様第一に考えてほしい。	-	-	-	●	-
46	倶知安町	小樽方面へのJRの本数をふやしてほしい。	●	-	-	-	-
47	札幌	電磁の強いバスを老人が利用は負担多き曜日時間が不可欠。並びに後記として車寄せをもっともっと登降しやすくつけてせつにせつに願います。	-	-	-	●	-
48	札幌市南区	もう少し時間短縮出来たら良いかな?	-	-	-	●	-
49	札幌市	小樽市内の路線バスがわかりづらいと思いました。	-	-	-	●	-
50	東京都	特にありません。仁木町には2週間に1度、親戚の家に行くだけなので、この辺りの土地にはくわしくありません。	-	-	-	-	●
51	岩内町	問5の運行本数に関しては、利用客が少ないことが分かっている上での個人的な意見です。利用客の数、利益などを考えれば適切だと感じます。私は学生です。いつもバスの運転手さんや関係者のみなさんには学生が沢山迷惑をおかけして大変申し訳ありません。(騒音等)毎日、安全運転でバスを運行して頂きありがとうございます。	-	-	-	-	●
52	倶知安町	高速ニセコ号を利用すると自宅付近に停留所がありません。まるで街中に住んでいる人だけの為のようです。自動車は横坐りが増えて酔い止めが必要になりました。	-	-	-	●	-
53	余市町	朝、JRの駅まで行ける時間のバスがないので、学生用にバスを運行してほしいです(冬だけでもいいので)	-	●	-	-	-
54	小樽市	小樽市の塩谷地区は、中央バスが国道にあり、そこまでが私は徒歩で20分位かかります。ひざが悪く、山坂はとてつきついです。JRがすぐそばにあり、とてもちょうほうしております。何年か前には廃線になる話もありました。何とかJRはなくなってほしくないです。中央バスも、塩谷駅迄のりいれてほしいものです。	●	●	-	-	-
55	岩内町	今は夫が運転して行動していますが…年を取ると行動範囲が狭くなり財布と相談しながら ※ドライバーが年を取っている人が多いと思います。若い人が少ないねー。10年度どうするんじや人がいなくなる！！	-	-	-	-	●
56	横浜市	路線バスの利用頻度はそれほど多くないですが、路線の維持を是非お願いしたい。	-	-	●	●	-
57	小樽市	JRは沿線住民の生活に欠かせません。	●	-	-	-	-
58	余市町	私は南小樽から小樽駅で乗り換え余市へ帰りますが、わずか5分程の遅いで、余市方面の列車が出た後で、その後1時間程待たないと次の列車はありません。本数も少ないのに何とかならないのでしょうか。駅のすぐ前にバス停はあるが全く連絡していないので意味がないと思う。	-	●	-	-	-
59	余市町	余市駅にゴミ箱を設置してほしい。	-	-	-	●	-
60	余市町	・近年の冬場のJRの運休は代替バスもなく、また料金の返却もなくひどいものがある。・小樽駅ホームの余市方面の乗場案内(乗口)がなく不便。ホームにマーキングするか車両番号を案内するとかして欲しい。外人も困ってる。・小樽駅の待合室スペースが狭すぎる！！もっと広く。◎若者の流失を防ぐためにJRの存続は必要	●	-	-	●	-
61	小樽市	JR函館本線の小樽～長万部間のJRによる存続と便数の増加、運賃の引き下げを強く望みます。JRがなくなると事実上陸の孤島になり生活が困難になってしまいます。そもそもJRはもと住民の意見をきいて欲しいです。小樽市も観光ばかり力を入れなくて、もと住民の足について、真剣にとりくんで欲しいです。万が一JRが平行在来線を手ばなすなら札幌～小樽間も手ばなすべきだと思います。でないと不公平でひきょうです。	●	-	-	●	-

No	居住 市町村	自由意見	分 類				
			並行在来 線の存続・ 増便など	乗継の 利便性	幹線バス の維持・増 便など	その他 不満・要望	その他
62	小樽市	駅(塩谷駅)まで10分程で徒歩で行けます。長い間利用させて頂きました。これからもケイゾクして下さる事を願っています。	●	-	-	-	-
63	余市町	余市駅に、自動改札機、エレベーターをつけてほしい(とても不便!!)。余市駅周辺のバス停がわかりづらい。乗りかえ時に迷うこともあるかも考えると、バス移動をやめるときもある。	-	-	-	●	-
64	黒松内町	運営いつもありがとうございます。	-	-	-	-	●
65	長万部町	昨年就職の関係で東京から長万部町へ越して来ました。自家用車を所持しておらず、公共交通に頼らざるをえない点、利用目的は主に黒松内ぶなの森やゆべつの湯などへのレジャーなのでそういった意味での問5の回答となります。そのため本数は少ないですが、特に不便は感じていません。	-	-	-	-	●
66	共和町	ターミナル発の18:10をのがしたら20:10発までしかないのがつらいです。温泉の998(神恵内村)がなくなって時間がはやくなった7分はやくになったがバスの出発時間をおそくてできないのだろうか。ターミナル発の12:40をのがしたら16:10までバスがないのがつらい。岩内高校までいけるようにしてほしい。バスを大きくしてほしい。	-	-	●	●	-
67	共和町	バス停留所の雪はねはどこが誰がするの?(大浜・おりる時とてもこわいです)のときはターミナルまであるきまず!冬になると毎回思います	-	-	-	●	-
68	余市町	18時付近の小樽駅について、札幌駅で数分遅い電車になるだけで、乗り継ぎで1時間以上待って電車に乗るか、440円払ってバスに乗り換えるか選ばなくてはならないのは、改善してほしい。	-	●	-	-	-
69	倶知安町	JRはなくさないで。子供達が通学に利用するので、なくなったら困る。	●	-	-	-	-
70	仁木町	JR函館線廃止ならバス増便を希望 廃止しないならJRとバスの運行時間をずらして欲しい(利便性向上)	-	-	●	-	-
71	余市町	余市から小樽間のJRが廃止になるととてもこまります。通学にはかかせない手段です。	●	-	-	-	-
72	倶知安町	倶知安駅を利用しています。車両が新しくなったので、快適です。できればもっと本数を増やしてほしいところですが、利用者の数からみて、それは難しいかなと思っています。	●	-	-	-	●
73	余市町	新幹線は不要です。地元の人を考えた公共交通であるべき!	-	-	-	●	●
74	小樽市	JRが事故で不通となった場合、代替のバスがないため手配が必要です。	-	-	-	●	-
75	小樽市	JRの蘭島駅を利用していますが、弁当やペットボトルゴミが放置されていたり、クモの巣や虫の死がいやベンチにあたり座って待っている気がおきません。先日3~4日以上ゴミが置いてあり他のお客さんが片付けたりしていました。私もホウキで掃除するハメになっています。	-	-	-	●	-
76	余市町	鉄道は絶対になくさないでほしいです!!	●	-	-	-	-
77	余市町	JR小樽~仁木は新幹線開通後も存続を望みます。(冬以外)朝・夕は通学のために、日中はワインや酒・果物を活用した利用法があれば良いと思います。そのためにも、小樽~函館方面、電子カードが使えるようにはならないでしょうか。不便です。	●	-	-	●	●
78	仁木町	JRが廃線になると、札幌へ行くのに大変困ります。バスもありますが、時間がかかり不便です。それにバスは混むので、乗っていて苦痛です。JRがあるので仁木に引越してきたので、廃線に成ったら引越しかんがえなくてはなりません。	●	-	-	-	-
79	余市町	自動車(自家用車)を運転しないので公共交通機関が必要です。現状維持をおねがいします。	●	-	-	-	-
80	余市町	電車を1時間に1本はかならずあるといい。	●	-	-	-	-
81	神恵内村	現在は、神恵内入口7:37→岩内ターミナル8:35頃。帰りのバスが岩内ターミナル12:40→神恵内入口13:40頃。帰りのバスが11:00台にあるとうれしい!!	-	-	●	-	-
82	余市町	余市方面~小樽間のJRの本数が少なすぎ。用事の1時間や2時間前に着くJRしかなかったり帰りの電車は1時間待ちなのに混んでいるなど、利用者数の多さと電車の本数が比例していないと感じる。	●	-	-	-	-
83	仁木町	JRは無くさないでほしいです。無くなると学校には確定で遅刻してしまいます…	●	-	-	-	-
84	小樽市	小樽方面から余市に向かうワンマン電車が夏にクーラーがかかっていないので、お願いします。	-	-	-	●	-
85	余市町	暑い中お疲れ様です!!ここに書いて良いかわかりませんが、今年2月から電車で小樽方面へ行っています。冬の電車の遅れ、春先大雨での遅れ、窓口が開いていないこともあり(通勤だと7:00頃に乗るため窓口は開いていません)、どのくらいで来るのかもわからずただ待つだけ。連絡がきちんとなくなればいいのですが、ただ運行しているだけで小樽駅の問い合わせもつながらず。対応が雑で困っています。意図とは違う回答ですみません。バスが時間通りに来ないことが多く、余市駅前周辺のバス停どのバスが停まるのかわかりにくくて、いつも電車を利用しています。小樽からはわかりやすいです。	-	-	-	●	●
86	函館市	長万部で普通列車同士の乗り継ぎ時間は、最大でも1時間程度が良い。新型の普通列車の車両は極端に座席が少なくなって、小樽から乗車だと小樽からは座れ無い事が多くなった。新型の普通列車の車両は窓にカーテンが無くて、夏の昼間は太陽光で暑い。新型の普通列車の車両は都市間バスと比較すると、運賃は同程度なのに居住性が最低である。長万部~倶知安間で運行する普通列車は、国鉄時代の車両で良いから座席が多い車両が良い。	-	●	-	●	-
87	小樽市	1.JRとバスとの連携が全くとれていない!!バスの出発時間が2分遅ければJRとの乗り換えが出来るのに!2.中央バスとニセコバスの連携も悪い!!3.ニセコバス、余市(JR)などのPASMOが使えない!4.停留所が汚たない!!これらを解決することが先決!!	-	●	-	●	-
88	小樽市	・JR単線の行き合い列車待ちの時間が長すぎる。もっとムダがないようにダイヤを組んでほしい。 ・無人駅で、「遅延証明書」が発行されない。車掌(運転手)が発行できるよう、常備してほしい。	●	-	-	●	-
89	余市町	JRの本数を増やして欲しい	●	-	-	-	-
90	小樽市	休日のバスも朝の時間も本数をふやしてほしい	-	-	●	-	-
91	小樽市	JRを利用することが多いが昼間の本数を多くしてほしい	●	-	-	-	-